

# 3月例会は『鍵泥棒のメソッド』

## 2014年度総会は4月23日

今月の加古川市の広報紙である「広報かこがわ」のサークル紹介の特集で、わが加古川シネマクラブが大きく紹介されました。これを契機に入会者が増えることを期待しています。

さて、年度末となって、総会のため資料の確認をはじめているところですが、最も気がかりなのは、会員数が163名に減っていることです。この状態が4か月続くと運営が厳しくなり、再度赤字状態に陥りそうです。

今年度の例会作品を並べると『人生、いろいろ』、『最強のふたり』、『屋根裏部屋のマリアたち』、『旅立ちの島唄—十五の春—』、『ハナ～奇跡の46日間』と、近隣の映画館では観ることのできない良い作品が続いているのに、鑑賞者が少ないのは実に残念なことです。

一方、映画ファンの入会のきっかけになればと考え、現在、お隣の明石シネマクラブと相談し、お互いの会員が両方の例会に参加できないか検討してもらっています。最新の例会案内封筒を会員証の代わり使う案が出ていますので、次回から例会参加券の封筒は捨てずに気を付けてください。

### 例会のお知らせ

■名称／第71回例会『鍵泥棒のメソッド』

■日時／2014年3月18日(火) ①PM1:50～、

②PM4:10～、③PM6:30～

■場所／加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ600m)

■受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

■タイトル／鍵泥棒のメソッド

■監督／内田けんじ

■出演／堺雅人、香川照之、広末涼子、荒川良々、森口瑤子、小山田サユリ、木野花、小野武彦

■データ／2012年、日本、2時間8分、

■ジャンル／ドラマ、コメディ

■解説／堺雅人と香川照之といえば、昨年大流行したテレビドラマ『半沢直樹』しか思い浮かばない。その2人が主演の映画なのだから、是非、観たい！と思っていたが、加古川では上映されなかった。そんな中、こういう娯楽映画があまり選ばれないはずの例会選定の会議で選ばれたのだから、みんなの期待がわかる。

この作品は、2008年5月に公開され大ヒットとなった『アフタースクール』でオリジナルのエンターテインメント作品を作り出した内田けんじ監督の3年ぶりとなる最新作である。

主演の桜井を演じるのは堺雅人。情けないけどなんだか憎めない男を演じる。記憶を失っている時の気まじめで弱気な人物、そして記憶が戻った時の威圧感のある人物、まるで一人二役のような人物コンドウ役を演じるのは、香川照之。実力ある二人の俳優の掛け合いは、まさにこの映画の見せ場である。

そんな中、記憶を失っているコンドウに惹かれていくちょっと変わった結婚願望の強い現代っ娘の香苗を広末涼子が演じるのだから、芝居としてのオモシロさもある。



## 【ストーリー】(ネタバレです)

35才でオンボロアパート暮らしの売れない役者・桜井。自殺しようとするも失敗し、とりあえず向った銭湯で、いかにも羽振りのよさそうな男・コンドウが目の前で転倒。頭を打って記憶喪失に。ついつい出来心で男の荷物を盗みだし、入れ替わったのはいいものの、コンドウはなんと、誰もその姿を見たことない伝説の殺し屋だった！コンドウへの危険な依頼を受けざるを得なくなった桜井は大ピンチに。一方、自分を「売れない貧乏役者」と思いこんでいるコンドウは、役者として成功するため、真面目に働き演技を勉強し始めていた。演じる面白さにも目覚め、知り合った婚活中の雑誌編集長の香苗から逆プロポーズまで受け、なんだか幸せな日々が……。そんな時にコンドウの記憶が戻ってしまう。殺しの依頼、大金の行方、そして結婚が絡み合い、事態は予測のつかない方向へと転がり始める。

## 定例総会開催のお知らせ

加古川シネマクラブでは、2014年度の定例総会を下記のとおり開催いたします。1年間の基本活動を決定する会議ですので、会員の皆さまには、ご出席いただきますようお願いいたします。

**1 名称** 2014年度加古川シネマクラブ定例総会

**2 日時** 4月23日(水)午後7時から(約1時間)

**3 場所** 加古川総合文化センター会議室2

**4 内容** (1)2013年度事業報告に関する事

(2)2013年度決算に関する事

(3)2014年度役員を選任に関する事

(4)2014年度事業計画に関する事

①例会、②7月の特別例会、③明石シネマクラブとの例会参加相互協力の試行、④その他の主催事業、共催・協力事業、会議など

(5)2014年度予算に関する事

**5 議案** 現在準備中です。事前に確認できるように4月14日から23日まで加古川シネマクラブのホームページ上に掲載します。

**6 参加方法** 直接会場にお集まりください。

**7 その他** 当日に出席できない方は、委任状(書面であれば形式を問いません)を提出することによって、出席する会員に議決等を委任することができます。

また、当日、5月例会発送準備作業の一部も行いますので、作業を手伝ってくださる人は、午後6時30分にお集まりください。

## 協力上映会の報告

2月25日に加古川総合文化センターで兵庫県映画センターが実施した『遺体』の映画上映会に協力しました。

2011年3月11日の大震災直後、多くの死者があった岩手県釜石市の遺体安置所となった廃校の中学校の体育館。そこで繰り広げられたドラマを、**西田敏行**を主演に映画化された。作品も良かったが、震災を忘れない思いの鑑賞者も多かったようだ。

鑑賞者数は294人でした。

## 前回例会の報告

1月22日の例会では、1991年に日本の千葉県で開催された世界卓球選手権で、はじめて結成された南北

『ハナ〜奇跡の46日間』を鑑賞しました。参加者からも好評で、いつもより多くのアンケートの回答があり、「おもしろかった」、「感動した」、「南北の統一(調和)を心から望む」、「日本は分断されなくて良かったと思うだけに南北朝鮮のことを考えると・・・」、「ふたりの主人公がすばらしかった」などの意見が記されていました。会場では、終わった後に、思わず拍手が起こりそうな空気がありました。この雰囲気は、名作の証でしょう。映画のジャンルでいえば、ヒューマン、スポーツ、ガールズ、友情、家族愛、社会、戦争、コメディなど盛りだくさんの名作でした。南の**ハ・ジウオン**もさることながら、北の**ペ・ドゥナ**の存在感がとても大きかった。参加会員109人。

## ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

**加古川シネマクラブ** 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL [cinemaclub@nifty.com](mailto:cinemaclub@nifty.com)

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 163人(1月22日現在)